

忽七版

東京女子高等師範學校
教授・附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生新著

▲四六版三百餘頁頗る美本
▲口繪十六枚・插繪多數入
▲保育法の實際實景紹介
▲定價二圓五十錢送十六錢

幼稚園保育法眞諦

○保育界耆宿の力作

著者は幼兒教育並に家庭教育の第一人者として曩に長くも此點に御關心深き 兩陛下の御前講演の榮に浴され又屢各官家よりの御招聘ある我國保育界の耆宿にて、現に本邦第一の東京女高師附屬幼稚園主事文部省社會教育官を兼ねられ人間味豊かな人格者として定評の士である。

○現代の保育法原論

本書は懇願數年初めて完成されたる新著にて、現代に於て最も完備し且系統も保育法原論である。倉橋先生は稀に見る純眞の教育者も著書少く系統も力作は唯本書のみ。

○保育法眞諦寫眞帖

小石川に新建築の東京女高師附屬幼稚園の施設經營は世界一なりと稱さる。而して其の建物よりもより以上優秀な新保育方法の實際實景を寫眞さなし多數之を掲載さる。

第一篇 幼稚園保育法の眞諦

一教育に於る目的と對象
二幼兒生活と幼稚園生活
三生活へ教育を
四幼兒生活の自己充實
五幼兒生活の充實指導
六幼兒生活の誘導

七幼兒生活の教導
八幼兒生活の陶冶
九幼兒の個性
十幼稚園に於る保姆の位置
第二篇 保育案の實際
一無案保育の意義
二保育案の意義
三誘導の保育案

四保育案の採りどころ
五保育案と保育項目
六保育案立案度及徹底度
七保姆と自由遊び
八保姆の創造性
九保姆の生活性
十保姆の保育過程の實際
第三篇 幼稚園の朝

二自由遊びから仕事へ
三自由分組
四個的時間割
五生活態度による分組
六流れゆく一日
七生活の向け方
八生活の偶發性
九日々の實際生活の尊重
十おかへり

第四篇 誘導保育案の試み
一旅へ
二大賣出し
三三人形の家の中心として
四わたし達の自動車
五特急列車「うさぎ」號

〔次目内容〕

増訂 十六版
奈良女高師幼稚園主事
森川正雄先生著

幼稚園の理論及實際

價三・〇八
送・六版

奈良女高師幼稚園主事
森川正雄先生著

幼稚園の經營

價三・〇六
送・六版

東洋圖書株式會社發行

東京市神田區神保町一丁目
電話 三〇七三番

東京女高師教授 倉橋惣三先生 同校新庄よしこ先生 共著
附屬幼稚園主事 保母 菊綏天金上製
定價三圓八十錢

本日幼稚園史

特色

一、二十年苦心の結晶漸く完成す
二、草稿千餘枚摘捨數百整理成る
三、日本幼稚園史として比類なし
大震災にて一時頓坐更に繼續再計畫の上蒐集考察研究完成す。
倉橋先生畢生の努力と新庄先生懸命の助力にて此の名著成る。
歴代 皇后陛下 行啓の榮を得し我が國幼稚園本山の記念塔。

〔内容目次〕

第一編 沿革及施設史

- 第一章 幼稚園開設前期
- 第一節 明治文化の建設
- 第二節 幼稚園開設の機運
- 第三節 幼稚園開設
- 第二章 幼稚園開設
- 第一節 女子師範學校附屬幼稚園の創設
- 第二節 設立後の経過
- 第三節 開園及開業式

第三章 女子師範學校附屬幼稚園

- 第一節 創立當時の規則及學年休業日
- 第二節 建物庭園及職員
- 第三節 保育科目及保育用具
- 第四節 幼稚園參觀記及追憶
- 第四章 女子師範附屬幼稚園

第一節 行啓

- 第一節 恩物の名稱その他
- 第二節 行幸
- 第三節 保嬰養成機關
- 第四節 保嬰練習科の設置
- 第五節 保嬰練習科の廢止
- 第六章 唱歌遊戯

第三編 公令、功績者、保育文獻

- 第一章 功績者
- 第一節 中村正直氏
- 第二節 關信三氏
- 第三節 松野くら女史
- 第四節 豐田美雄女史
- 第五節 小西信八氏
- 第二章 保育文獻
- 第三節 其後の普及發達
- 第四編

版五	版六	著者	編者	出版	価格
森川正雄先生著	森川正雄先生著	久留島武彦先生著	小學校	送・二・五〇	送・二・五〇
森川正雄先生著	森川正雄先生著	久留島武彦先生著	小學校	送・二・五〇	送・二・五〇
森川正雄先生著	森川正雄先生著	久留島武彦先生著	小學校	送・二・五〇	送・二・五〇
森川正雄先生著	森川正雄先生著	久留島武彦先生著	小學校	送・二・五〇	送・二・五〇

東大 京阪 東洋圖書株式會社 發行

東京市神田區神保町一丁目・目録・振替東京一〇三〇七番
大阪市南區堂寺町一丁目・目録・振替大阪三九五番